

(様式)

令和4年度 女子バスケットボール部の指導方針等について

令和4年4月30日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	神田 道夫			
副顧問	河原 猛			
副顧問	豊田 典子			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
部活動を推進する本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会等の具体的到達目標
東京都ベスト8、関東大会出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 社会貢献等の特色ある目標
奉仕精神の育成の為高体連大会の会場補助役員として生徒が活動する。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週に6日間とし、練習時間は可能な限り確保する。モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
月に1～2回程度、競技力を高めるため全国大会レベルの強豪チームと練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (1) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 関東大会東京都予選（会場校） 関東大会神奈川県
	5	部活動保護者会（指導方針等を説明）
	6	インターハイ東京都予選（会場）
	7	夏季合宿健康診断・保護者説明会
	8	夏季合宿（群馬県尾瀬市 体育館 4泊5日） 中学生部活動体験入部 夏季大会（会場予定） 八学区交流大会
2 学期	9	立川地区定期戦大会
	10	大学練習試合（日本女子体育大学、東京女子体育大学、帝京大学等）
	11	新人大会東京都予選
	12	冬季休業中 練習及び練習試合 基礎体力強化練習
3 学期	1	新人大会東京都予選
	2	西部リーグ大会
	3	立川地区定期戦大会 保護者会（年間の活動の振り返りと次年度への反映） 春季休業中 練習及び練習試合、山梨、埼玉遠征

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

【記入例】

平成〇〇年度〇〇〇部の指導方針等について

平成〇〇年〇月〇日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	日本サッカー協会 公認C級	週4日
副顧問	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	高校サッカー部 コーチ	月1回
副顧問	〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇		

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
関東大会出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域交流を積極的に図るため、年間3回、スポーツ大会の補助役員として生徒が活動する。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間、休日4時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
月に1～2回程度、競技力を高めるため強豪チームと練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (2) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (3) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (5) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 関東大会東京都予選 関東大会〇〇県
	5	部活動保護者会（指導方針等を説明）
	6	インターハイ東京都予選
	7	夏季合宿健康診断・保護者説明会
	8	夏季合宿（〇〇県〇〇市 体育館 3泊4日） 強化練習会参加 練習試合、〇〇県遠征
	2 学期	9
10		新人大会東京都予選 中学生部活動体験入部
11		〇〇区民大会参加 〇〇大学合同練習
12		冬季休業中 練習及び練習試合 基礎体力強化練習
3 学期	1	全国大会競技補助運営
	2	地区リーグ戦大会
	3	部活動保護者会（年間の活動の振り返りと次年度への反映） 春季休業中 練習及び練習試合

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。